

・明るく・温かく・明日に向かって



K J V A

高知県小学生バレーボール連盟

広報委員会通信

No, 31

令和7年6月5日

ジュニアバレーボールの季節到来

春のコンプライアンス研修へのご参加・ご協力、どうもありがとうございました。

日々スポーツへの考え方が変わっている今日です。今回のように、みなさんで情報を共有し合い、そこから新しい県小連をつくっていくことが、今までの歴史と伝統を築いてくださった方々への一番の恩返しであると感じています。また次の時代を築く子どもたちへの最高の贈り物であるとも思います。

今から全国大会予選会まで、少しでも多くの成長と感動を！という思いでどのチームも頑張っていると思います。勝利理想主義は大事です。ルールにのっとって、それぞれのチームが目標に向かって頑張ってきた成果を出し合う日、それが6月27日28日です。今から本当に楽しみです。

第2回 春の コンプライアンス研修会



高知県小学生バレーボール連盟
コンプライアンス委員会
令和7年4月5日(土)

いつでも、どこでも、コートに
子どもたちの笑顔と歓声が
あふれているのが
小学生バレーボールの真の姿

日本小学生バレーボール連盟 会長 工藤 憲



プレイヤーズセンタード
ど真ん中に子どもがいる！
主役は子どもたち！

- ☆健康管理（心と体を大切に♡）
- ☆計画的な学習・生活・時間管理
- ☆優しさ・思いやりの心
- ☆凡事徹底（ぼんじてっい）
（時間を守る・あいさつ・黙動・
整理整頓）



子ども・選手

- ☆率先垂範（そっせんすいはん）
（模範を示すだけでなく、子どもの成長を信じて
任せて見守り、承認することも時には大事。）
- ☆指導力向上への努力
- ☆児童理解
- ☆組織リーダーとしての気品
- ☆カウンセリングマインド
（子どもたちに関心を持ち、理解しようと
する気持ちを大切に）



指導者



来てくれて
ありがとう

- ☆子どもの最大の理解者
- ☆子どもの最高の応援団
- ☆相手意識を持った言動
- ☆チームスタッフをサポート



保護者

コンプライアンスを
守ることによって・・・



選手（子どもたち）を守り
保護者を守り
そして指導者も守る

Enjoy Volleyball（スポーツは明るいもの、楽しいもの）

- ★ 礼儀正しくあれ。
- ★ どんな人に対しても、どんな場にあっても、通用するのは人間性。
- ★ 相手の好プレーには拍手を送ろう。
- ★ 慶応義塾は「身・技・体・学・伝」
- ★ 周りの者に感謝の気持ちを持て。
- ★ 感謝の気持ちは「ありがとう」世の中にそれほど以心伝心はない。
- ★ 時間厳守。組織が成り立つ、人の信頼を勝ち取る最大の武器。
- ★ 個と全。グラウンド出たら個人の技術。
- ★ 精神力を高めるための最大の努力を！
同時にチーム全体の流れ、ムードを考えてプレーせよ。

上記は、第105回全国高校野球選手権記念大会で優勝した慶応義塾高校の野球部訓です。この「部訓」はナインにとっての“憲法”にあたる大事なものであるそうです。慶応義塾高校らしさと思われるのは、以下の3点ではないでしょうか。

- 1 スポーツは明るいもの、楽しいもの
- 2 自立・自律（主体的な個の努力を全面に出したスポーツ感）
- 3 選手間の協働的な学び（チームワーク）をチーム作りの中心に

ジュニアスポーツあるいは子どもの学習においても、この流れは急速に普及しています。「**笑顔で練習・笑顔で試合・そして笑顔で優勝**」を合言葉に、結果的に勝利をつかむチームも出てきています。ただ、「笑顔」だけを大切にしたいわけではありません。その土台には、上記のような「心身の鍛錬・規範意識の醸成・自己研鑽・自己を拓き、他とともによりよく生きる力」が必須です。しかし、それを、追い求めるのか、他から押し付けられるのか、楽しい気分でつかむのか、怖がりながら身につけるかの違いは、とてつもなく大きいのです。「怒られて怒られて優勝！」ではなく、「**悩み考えひらめきチャレンジで優勝！**」の感動の方に**値打ちがあり、持続的な興味関心や努力につながります。また、今後の人生で、どの道に進もうとも、ここで身に付けた力が役に立つはず**です

このチーム作りのために指導者に必要なことをまとめると、次の5つだと考えます。

- ① **子どものやる気を喜び、伸びを楽しむマインド**
- ② **時間の有効活用（足が動く ボールが動く 声が飛ぶ）**
- ③ **大人のモデル化(環境づくり)・・・学び続ける大人の姿を見せ続ける**
- ④ **思考が働く場の設定(威圧的態度の撲滅・委縮につながる指導の放棄)**
- ⑤ **発達段階に応じた指導方法及び指導力向上への探求**
「適切なアドバイス(最善なスモールステップの提示)」

この先にあるのが、ENJOY Volleyball です！

(記:竹村)

～春のコンプライアンス研修会 参加者からの声(抜粋)～

- ◎「優勝バレー」大変心に残る言葉です。自分たちが変わることによってチーム自体が大きく変わることができると思いました。
- ◎バレーボールを通じた人間形成やマナーアップ、生涯スポーツとしての価値を再確認しました。選手の未来につながる指導を心がけていきます。
- ◎ポケットに手を入れて話したり指差し等、何気ない仕草にも注意・配慮が必要だと感じました。
- ◎子どもたちが受け身にならず、自主的に活動できる指導を考えていきたいと思いました。
- ◎子どもだけが所属しているのではなく、保護者も子どもたちを支えるために所属していることを再認識し、改めて応援団として一丸となり、サポートしていきたいと思いました。
- ◎保護者として、バレーボールが好きな子どもたちに対して、温かく見守り最高の応援団になりたいです。子どもたちを含め、チームがより良くバレーボールができる環境となるよう、指導者のみでなく、保護者も一緒になって作っていききたいと思いました。
- ◎高知県小連がコンプライアンスに力を入れていることを感じました。